

令和7年度 氷川学園グループホーム事業所 地域連携推進会議 議事録

事業所名	氷川学園 グループホーム事業所		
開催日時	令和8年1月16日(金) 15時00分~16時00分		
開催場所	氷川学園会議室		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員 入居者 入居者ご家族 地域の関係者 福祉に知見を有する方 経営に知見を有する方 市町村担当職員	3名 1名 0名 1名 1名 1名	管理者 サビ管 氷川学園管理者 体調不良により欠席 桜ヶ丘区長 氷川町民生委員児童委員協議会 会長 氷川町健康福祉課
議題	1 開会 2 管理者あいさつ(地域連携推進会議の設置目的について) 3 施設見学 4 議題 <ul style="list-style-type: none"> ① 事業概要と現状 ② 地域との連携体制について ③ 苦情受付体制について 5 意見交換・総括 6 閉会		
協議内容・意見等	1・2・3 略 4・5 議題での質問及び感想 <p>① 地域住民としての認識と今後の見守り体制について</p> <p>委員より、グループホームの利用者が各ホームに住民票を置いている事実を知ったとの意見。これにより、特に高齢の利用者が、これまで見過ごされていた地域の「高齢者見守り対象」に該当するのではないかと思っている。今後、担当者間で協議し、利用者を地域の見守りシステムに正式に組み込む方向で検討を進める意向が示された。</p> <p>② 定員未達の背景と運営課題について</p> <p>委員より、定員に達していない理由について質問があった。</p> <p>競合となる新規事業者が増加していることを背景に説明。特に、新規事業者の中には障害が重度で手厚い支援を要する利用者を受け入れる施設が多く、職員配置状況により不在になるホームがあることを前提とする当事業所とはサービスモデルが異なるため、新規利用者の確保が難しくなっていること述べた。また、既存利用者の高齢化が進行しており、将来的な運営への影響が懸念されるとの課題認識が共有された。</p> <p>③ 利用者様からの要望と地域交流活動への参加について</p> <p>出席した利用者様より、「外食」や「ドライブ」に行きたいとの直接的な要望が述べられた。</p> <p>これを受け、委員から、地域で実施している一人暮らし高齢者向けの食事会に利用者の方々を招待してはどうかとの提案があった。 </p>		

④ 地域活動への参加に関する現状と課題

事業所として、地域のリサイクル活動をはじめとする地域の活動には可能な範囲で参加するよう努めていることが報告された。一方で、利用者の個々の状況によっては参加が難しい場合もあるため、今後も「無理のない範囲で」参加を継続していくという、柔軟なアプローチの重要性が確認された。

5. 閉会

最後に、司会者より閉会の挨拶がなされた。出席者から寄せられた貴重な意見に対し謝意が表明され、これらの意見を今後の事業所運営および利用者支援に活かしていくことが約束された。また、今後も地域に開かれ、信頼される事業所を目指して、地域住民との連携を深めていきたいと述べ会議は終了した。

6. その他

本会議は今後、年一回以上の開催を予定している。なお、本議事録は法人の公式ホームページにて公開される予定とした。